



特定非営利活動法人 海苔のふるさと会 会報

大森 海苔のふるさと館 ニュース 7号

平成21年度の予定

当館は、昨年の4月6日にオープンし、今年で二年目を迎えます。昨年は、8万人を超える方々にご利用いただきました。新年度は、新たな催し物も予定しております。主な予定をご紹介します。



毎月の催しもの

毎月、さまざまな催しものの開催を予定しています。申込み方法や内容の詳細などは、区報や館のWEBサイトをご覧ください。

開催日	イベント名
4月26日	海苔つけ体験
5月9日, 16日, 23日	聞き書きボランティア養成講座 「海苔の暮らしを書き残そう」
6月28日	海苔網で袋作り
7月26日, 8月23日	浜辺の生き物探検隊
7月30日	ペーパークラフトベカブネ作り
9月13日, 10月4日	海苔簀編み体験
10月11日, 12月6日	海苔の街を歩く (2回)
11月7日, 12月23日	
1月24日, 2月21日	海苔つけ体験
3月7日	

💡 新イベント

●聞き書きボランティア養成講座「海苔の暮らしを書き残そう」(全3回)

当館では、地域に密着した施設という特徴を活かし、元海苔生産者の皆さんから体験談を聞き、文章として形に残す活動をしていきたいと考えています。その第一歩として、話を聞き、文章にまとめる手法を学ぶ講座を開催します。

●海苔網で袋作り

海苔の養殖に使う網の編み方で袋を作ります。



第四回 のり祭り 4月5日(日)

- 時間 午前10時～午後4時(雨天決行)
- 会場 大森 海苔のふるさと館
- 主催・問合せ先 大森本場乾海苔問屋協同組合
TEL 03-3762-3441



その他の予定

催しものや講座の他に、主に次のような活動を予定しています。親子連れや子供たちが楽しめるものもあります。また、季節に合わせて変えていますので、何度でも足を運んでみてください。

- ✧ふるはま自然情報コーナー、生き物生態展示
- ✧のり検定2009(夏休み)
- ✧季節の絵本コーナー、昔遊び
- ✧ミニ写真展示 など

この他に、海苔の仕事体験など、皆様にもご参加いただける内容も予定しています。

■のりかんサポーター「はまどの会」

今年度から、学び、体験、ボランティアの三つの活動を柱に、館と連動した活動を行う方々を募集する予定です。

当館をフィールドに、異なる世代や経験の方が交流し、楽しみを共有する機会を作ります。

※「はまど」は、海で働く人という意味の大森地域の言葉です。

主催：NPO法人 海苔のふるさと会

■ミニ・イベント

気軽に参加できる小規模なイベントを行っていく予定です。絵本の読み聞かせと公園散歩、気軽にバードウォッチング、鳥のぬいぐるみづくり、海苔焼きの実演、海苔巻きづくり、など随時お知らせします。

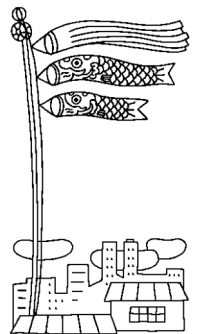
主催：NPO法人 海苔のふるさと会

■年中行事の飾りつけ

七夕飾りやひな人形など、季節の行事に合わせた飾り付けや、ミニイベントを行い、季節を感じる雰囲気作りを行います。

主催：NPO法人 海苔のふるさと会

※上記の詳細や参加方法については、館内掲示やWEBサイト、このニュースなどでお知らせします。



のりかんスタッフの一年 ～新年度もよろしくおねがいます!～

館で行っているアンケートをみると、知人の紹介で来館したという答えが多いことに驚きます。一年目の今年、予想を大きく上回る来館者を迎えることができたのも多くの方が館を紹介してくれたおかげと感謝しております。今後もスタッフ一同、にぎわいのある施設・喜びをえられる施設の実現に向けて努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

(文 - 小山 文大)

このニュースの編集やWEB作成、海苔つけ体験などを担当しました。人との繋がり大切さを実感した一年です。



昨年は、無事にこなすので精いっぱいでしたが、新年度は新たな企画で、より多くの方々と交流の機会を提供し、楽しさを共有していきたいと思っています。お楽しみに!

(まこ - 五十嵐 麻子)

皆さんにとって昨年はどうでしたか?私はとても充実した一年となりました。実は私社会人一年目で、失敗もしましたが他のスタッフに支えられながら、また、色々教わりながら一年を過ごしたように感じます。去年は「勉強の年」でしたね。「勉強の年」はもう少し続きそうですが…。今年は去年得たことを活かせるよう頑張っていきたいですね。

(りょう - 平山 龍)



新スタッフ紹介 高橋義人です

海に囲まれた島国ニッポン。

私は都内でも数少ない海と自然を身近に感じられるこの大田区に生まれ育ちました。

日々勉強の身ですが、皆様と「ふるさと館」でお逢いできることを心よりお待ちしております。

＊ コラム

普段食べているのは「焼のり」ですが、ここ、ふるさと館の海苔つけ体験でお渡しするのは「乾し海苔」です。私の子供の頃は海苔といえばこの「乾し海苔」で、朝ごはんの支度に海苔を焼くのは子供の役目でした。

ガスコンロの上に海苔二枚を合わせて持ち、最初は遠火でゆっくり水分を抜く、それから海苔の四隅を順に持ってヒラリヒラリと返しながらかくなるまで焼き上げる。パリッ!香ばしい香りがいっぱいです。みなさんもせっかくご自分でつけた海苔ですから、美味しく召し上がって下さい。

(信田)

開館以来、この一年海苔に関する知識をうえ込み無我夢中で過して来ました。

二年目を迎えるにあたり、海苔のふるさと館が地域に根ざした博物館になるよう微力ながら尽力したいと考えております。

(宮川 - 宮川 修)

蒲田で生まれ育った海苔の大好きな私です。昔はお弁当に海苔が二段ですと「豪華」で嬉しく思いましたが、元々の海苔屋さん達の昔話を聞かせていただくと、海苔が貴重品だったことがよくわかりました。この一年間本当にお客様に育てていただきました。ありがとうございます。これからも館内を、チョコチョコ歩いてたら、気軽に声をかけてください。

(渡辺 - 渡辺 久江)

「海苔が採れるのは春?夏?秋?冬?」

海苔つけ体験に来る小学生のみなさんと共に私もこの一年学ばせて頂きました。海苔の養殖はここ大森から日本各地に伝えられ、文字どおり海苔の“ふるさと”である事。先人の努力、ご苦労なども“ふるさと”のあたたかさにつつんで来館されるみなさんに伝えていきたいと思っています。

(信田 - 信田 幸子)



第一回 NPO会員バスツアー見学

予想もしなかった春の嵐の中、施設見学バスツアーは30名の参加者を得て、元気よく出発しました。初めに浦安市郷土博物館を見学。昼食後、君津市漁業資料館を見学。それぞれの館で、千葉の海苔作りの展示を見学しました。

この辺で雨が上がり、次に金田漁港を訪問。現役海苔漁師の金萬氏の案内で海苔の養殖状況の説明を受け、漁場の現場を視察し、夕刻5時に大森へ戻りました。(宮川)

特定非営利活動法人 海苔のふるさと会会報「大森海苔のふるさと館 ニュース」7号

平成21年4月1日発行

編集・発行 特定非営利活動法人 海苔のふるさと会

連絡先 東京都大田区平和の森公園2番2号

TEL 03-5471-0333

FAX 03-5471-0347